

〈第11段落〉

冒頭に「しかし」と逆接の接続語をもってきて、一転、記号の短所らしきことにふれてくる。この段落は、書き手の考えが表面に出てきており、文章をまとめるという意識もはたらいていると思われる。しかし、記号とことばの説明という本来的なものからは、ややはずれているように思われる。中心文としては、2の文が妥当であろう。

② 児童観

〔前提調査〕

読解に関する諸能力について、次のねらいのもとに調査した。

- 要点は握の際のつまずきとの関連をとらえる資料を得る。
- 読解に関係する諸能力の実態をとらえ、要点のとらえ方との関連を見る。
- 授業観察、分析等の参考資料を得る。

ア、調査問題のねらい

設問	ねらい
1 (1)~(25)	教材に提出されている既習、新出漢字、その他の既習漢字の読みの力を見る。
2	(1) 段落の中心語句を読みとる力を見る。
	(2) 文章に書かれている事柄を読みとる力を見る。
	(3) 段落の中心文を読みとる力を見る。
	(4) 中心文をどのような観点から選び出すかを見る。
	(5) 述語から主語をつかむ力を見る。
3	(1) 段落の前の方にある中心文を読みとる力を見る。
	(2) 段落の後の方にある中心文を読みとる力を見る。
	(3) 段落の中ごろにある中心文を読みとる力を見る。
4	一～二 指示語の指示内容を読みとる力を見る。
	三 接続語の理解力を見る。
	四 「まとめの文」を選び出す力を見る。

イ、調査対象

小学校3年児童 38名

ウ、調査結果とその考察

ア) 漢字の読み

表1

児童名	問題	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	正答数
		教える	歌	鳴き	売る	交通	図書室	意味	飲む	記号	曲がる	薬	文章	調べる	深さ	反対	研究	通う	整理	短く	港	横だん	歩道	等しい	駅	その他	
1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25
2		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	○	×	19
3		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	17	
36		×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	16	
37		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	24
38		×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	15	
正答者数		33	37	36	36	36	32	24	35	37	36	38	36	36	38	36	36	33	36	35	29	33	13	29	20	25	

○新出 ●読みかえ